



2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社
コード番号 8945 URL <https://www.sunnexta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5229-8839

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	6,107	2.1	361	27.9	367	26.8	1,840	504.9
2023年6月期第3四半期	5,984	6.0	501	6.3	501	8.4	304	82.2

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 839百万円 (145.3%) 2023年6月期第3四半期 342百万円 (32.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	201.59	195.41
2023年6月期第3四半期	33.43	32.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	10,608	7,969	73.5
2023年6月期	10,072	7,436	72.3

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 7,793百万円 2023年6月期 7,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		18.00		19.00	37.00
2024年6月期		19.00			
2024年6月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	9.0	670	22.6	670	25.9	1,930	297.1	211.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期3Q	10,767,100 株	2023年6月期	10,749,700 株
期末自己株式数	2024年6月期3Q	1,632,636 株	2023年6月期	1,632,636 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期3Q	9,128,664 株	2023年6月期3Q	9,098,564 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ¹⁾(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な国際情勢を背景に資源・原材料価格の高騰や円安の進行による物価上昇、地政学リスクの高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、少子高齢化の進行や働き方の多様化の拡大により人手不足が深刻化しており、アウトソーシングの導入を検討する企業が増加しております。また、マンション管理市場においては、新築分譲マンションの供給戸数の先細りが見込まれるものの、マンションストック数は年々増加しており、経年劣化に伴う共用部の修繕工事も増加傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、2025年6月期を最終年度とする中期経営計画「NEXT STANDARD 2025」を推進しており、2024年6月期においては、受注環境が回復基調にある中、新たなサービスを加えたストックの積み上げによる事業拡大と業務効率化による生産性向上で、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革をさらに推し進めております。また、今後のアウトソーシング業務のさらなる安定稼働に向けた人的資本への投資にも積極的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、ストックの積み上げによる増加に加え、インボイス制度の導入に伴うスポットの手数料収入が増加したことなどから、売上高は61億7百万円（前年同期比2.1%増）となりました。一方、利益面においては、人材の定着・育成・働きやすさ向上を目的に事業所移転を実施したことや投資有価証券売却に伴い租税公課が増加したことなどにより、営業利益は3億61百万円（同27.9%減）、経常利益は3億67百万円（同26.8%減）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益22億13百万円を計上したことなどから、18億40百万円（同504.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、大手企業向けの新規受注獲得には時間を要しているものの、中堅企業に対しては新たな専用サービスの提供により、受注数が徐々に増加しております。また、人事・総務向けBPOサービスが順調に拡大していることやインボイス制度への対応支援としてのスポット収入が増加したことなどから、売上高は31億62百万円（前年同期比6.5%増）となりました。一方、利益面では、今後のアウトソーシング業務の安定稼働に向けた事業所移転に伴う費用が発生したこと等から、営業利益は8億64百万円（同4.0%減）となりました。

② マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、マンション管理の新規受託における引き合いは引き続き堅調なことから管理戸数は増加しております。また、台風被害等による修繕工事や計画修繕の元請工事が前期に比べ増加した一方で、不動産の買取再販取引が前期比で減少したことなどから、売上高は27億17百万円（前年同期比0.8%増）となりました。利益面では、管理委託料の値上げに対し外注原価の増加が先行していることや管理員等の欠員を派遣社員等で補ったことも影響し、営業利益は1億26百万円（同15.7%減）となりました。

③ インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、新たな基盤事業の創出に向けた複数のサービス開発に注力しておりますが、第2四半期において24時間対応のコールセンターサービスで主要顧客の解約が発生したことなどから、売上高は2億27百万円（前年同期比28.5%減）、営業利益は0百万円（同95.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億36百万円増加し、106億8百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億67百万円増加し、92億29百万円となりました。これは主に営業立替金の増加34億5百万円、現金及び預金の減少13億74百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ12億31百万円減少し、13億79百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少16億7百万円、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定の増加1億60百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、26億39百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億円増加し、24億46百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加4億49百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億97百万円減少し、1億92百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少4億3百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億33百万円増加し、79億69百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加14億93百万円、保有株式の売却に伴うその他有価証券評価差額金の減少10億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期連結業績予想につきましては、2024年3月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,762,731	3,388,511
売掛金及び契約資産	386,253	320,076
営業立替金	1,367,897	4,773,005
商品	1,953	1,711
販売用不動産	199,406	320,587
仕掛品	4,422	17,634
貯蔵品	10,319	10,893
その他	732,538	403,210
貸倒引当金	△3,823	△6,302
流動資産合計	7,461,698	9,229,328
固定資産		
有形固定資産	206,798	315,158
無形固定資産	418,624	604,009
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,527	38,150
その他	339,601	422,167
貸倒引当金	△23	△81
投資その他の資産合計	1,985,105	460,236
固定資産合計	2,610,527	1,379,405
資産合計	10,072,226	10,608,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,777	157,056
未払法人税等	142,139	592,114
営業預り金	796,469	669,836
賞与引当金	53,958	149,117
役員賞与引当金	9,346	8,400
株主優待引当金	7,348	—
その他	855,730	870,005
流動負債合計	2,045,770	2,446,530
固定負債		
退職給付に係る負債	187,240	182,229
繰延税金負債	403,009	—
その他	—	10,465
固定負債合計	590,249	192,694
負債合計	2,636,020	2,639,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,033	996,454
資本剰余金	742,983	751,404
利益剰余金	5,739,269	7,232,787
自己株式	△1,187,197	△1,187,197
株主資本合計	6,283,089	7,793,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,000,932	483
その他の包括利益累計額合計	1,000,932	483
新株予約権	152,184	175,575
純資産合計	7,436,206	7,969,508
負債純資産合計	10,072,226	10,608,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,984,843	6,107,980
売上原価	4,568,712	4,726,343
売上総利益	1,416,130	1,381,636
販売費及び一般管理費	914,975	1,020,358
営業利益	501,154	361,278
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,519	1,256
受取手数料	648	303
還付加算金	—	1,584
受取保険金	822	449
補助金収入	1,664	2,434
その他	489	729
営業外収益合計	5,144	6,757
営業外費用		
支払補償費	3,512	659
その他	1,046	335
営業外費用合計	4,559	995
経常利益	501,739	367,040
特別利益		
固定資産売却益	—	441
投資有価証券売却益	—	2,213,700
新株予約権戻入益	4,088	11,352
特別利益合計	4,088	2,225,494
特別損失		
固定資産除却損	27	6,428
投資有価証券評価損	30,000	—
減損損失	—	55,013
事務所移転費用	—	4,025
特別損失合計	30,027	65,468
税金等調整前四半期純利益	475,799	2,527,067
法人税等	171,584	686,770
四半期純利益	304,215	1,840,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,215	1,840,297

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	304,215	1,840,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,107	△1,000,449
その他の包括利益合計	38,107	△1,000,449
四半期包括利益	342,322	839,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,322	839,847
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,969,802	2,696,045	318,995	5,984,843	—	5,984,843
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	310	4,478	57,440	62,228	△62,228	—
計	2,970,112	2,700,523	376,435	6,047,071	△62,228	5,984,843
セグメント利益	900,487	150,592	10,456	1,061,537	△560,382	501,154

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△560,382千円は、セグメント間取引消去14,402千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△574,785千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,162,484	2,717,556	227,939	6,107,980	—	6,107,980
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	298	4,364	49,772	54,435	△54,435	—
計	3,162,782	2,721,920	277,711	6,162,415	△54,435	6,107,980
セグメント利益	864,398	126,978	471	991,848	△630,569	361,278

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△630,569千円は、セグメント間取引消去17,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△647,835千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インキュベーション事業」セグメントにおいて、有形固定資産及び無形固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において55,013千円であります。